

# 事務事業評価シート1 (一般事業)

## 1 基本情報

事業番号		0310/450505/04/00		事業の種類	3	
年度	20	事務事業名	救助指導会事業	作成日	重要度	4
予算事業名	救助大会事業		担当課名	消防本部 消防課		
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり					
施策名	消防・防災体制		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	消防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	消防職員、市民				
	誰(何)を対象として	消防職員、市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	救助に対する市民のニーズに対応するため、技術を習得する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高度な救助技術の習得。				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	救助大会	回	1	0	1	1
	救助訓練	回	103	57	107	110
	資器材点検	回	103	57	107	110

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	0.910	0.090	9.9	0.950	105.6	0.850	89.5	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	8,537,814	1,522,675	17.8	8,745,378	574.3	7,935,264	90.7	
	事業費	217,637	0	-	246,040	-	220,000	89.4	
	合計	8,755,451	1,522,675	17.4	8,991,418	590.5	8,155,264	90.7	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	8,755,451	1,522,675	17.4	8,991,418	590.5	8,155,264	90.7	
	合計	8,755,451	1,522,675	17.4	8,991,418	590.5	8,155,264	90.7	

## 4 評価指標

[有効性]

指標名1		救助訓練事業							
指標説明(式)		訓練回数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
回	目標	80	40	50.0	80	200.0	110	137.5	
	実績	103	57	55.3	107	187.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

[効率性]

指標名1		救助訓練一人当たりのコスト							
指標説明(式)		『人件費』+『消耗品』+『訓練資器材』							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	972,827	213,586	22.0	691,647	323.8	627,328	90.7	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
有効性	市民サービス	市民の安全を確保するため日々救助訓練を行い、救助技術を研鑽した。	5	5
効率性	手段の最適性	救助指導会は毎年参加とし、新しい技術及び体力強化の習得に努めた。	5	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	常設の訓練施設がなく、訓練現場においても、消防施設から離れていることから、効果的な訓練が実施困難である。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	市民ニーズ	多種多様な災害から市民を守るべく技術を習得する。
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--	--	--



検討の有無	-
総合指標	18